

Satoyama Days

3月号



寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じる頃となりました。3月号では、令和7年度第2回稲梓地域まちづくり協議会と花木の里プロジェクトのシャクナゲと桜の植樹についてお知らせします。

令和7年度第2回稲梓地域まちづくり協議会開催

2月19日、令和7年度 第2回 稲梓地域まちづくり協議会が開催されました。

今回の会議では、今年度の活動報告とともに、次年度（令和8年度）に向けた計画や各プロジェクトの進捗について、議論が交わされました。今年度重点プロジェクトを中心に活動してきましたが、議論の中で浮き彫りになったのは、「担い手不足」という大きな壁です。活動現場から、以下のような切実な声が上がっています。

実働部隊の高齢化：現場を支えるメンバーが固定化され、負担が一部に集中している。

維持管理体制の未整備：せっかく始めたプロジェクトを、誰がどう守っていくのかが定まっていない。

稲梓の豊かな環境や伝統を守り、次世代へつないでいくためには、現状の限られたメンバーだけでなく、「多様な世代・多様な立場」からの参画が今まさに求められています。「フルタイムで手伝うのは難しいけれど、この部分だけなら……」「若い世代の視点からアイデアを出したい」といった、新しい風が必要です。自分たちの手で、無理のない範囲から「できること」を一緒に探してみませんか？

花木の里プロジェクト、シャクナゲ・桜の植栽

3月11日、県道15号線沿いにシャクナゲ、桜の植栽を実施しました。

美しい里山づくりプロジェクト推進委員会の皆さんや地域の有志の方々と、加増野地区の報本寺周辺や堀之内地区の茶丸丸の墓入り口に、シャクナゲ30本、しだれ桜25本、河津桜15本を植栽しました。



問い合わせ先

稲梓地域まちづくり協議会（下田市役所 企画課内）

☎ 0558-22-2212 ✉ kikaku@city.shimoda.lg.jp

